

## 油日神社

油日神社は、木々に囲まれています、油日岳のふもとにあり、かつては甲賀の忍者といわれる侍たちがここに集まり、情報交換や戦術の話し合いを行っていました。神社には、忍者たちが会合に使用していた屋根付きの回廊が含まれています。また、この神社は甲賀の人々にとっての精神的な中心地でもありました。

主祭神は油日岳の神である「油日大明神」です。「油日」とは「灯火」や「光」を意味し、地元の伝説によれば、山頂に降臨した際に大きな光を放ったと言われています。油日神社は、

日本文化に多大な貢献をした人物として称えられている聖徳太子（574-672）によって創建されたと伝えられています。後世、甲賀の侍たちは聖徳太子を軍神として崇めていました。

油日神社に関する国史の正式な書面の記録は 877 年にまで遡りますが、現在の建物は 1493 年に地元の侍たちの寄付によって建てられました。神社には、回廊の他に本殿、拝殿、楼門があり、国の重要文化財に指定されています。誰でも神社を見学することができますが、建物内（回廊を含む）に入る際は靴を脱ぐようお願いしています。盲導犬を除き、ペットの立入はご遠慮願います。